



画像提供: 北村 裕一さん

気にしたことありますか?

災害時のトイレ対策



災害に備えて水や食料の心配をする人は多いと思いますが、トイレについて考えたことはありますか? 災害が起こると普段は見えないトイレの問題が見えてきます。

災害発生!

そのときトイレは…!?

- 水道が止まる → 流れない、洗えない
- 電気が止まる → トイレが暗い
- 電話・ネットが繋がらない → 修理に時間がかかる

水害時では
トイレに水や泥が流れ込んできて使えなくなることもあります。



教えてくれた人
日本赤十字社 石川県支部ボランティア 防災ボランティアリーダー 赤十字救急法指導員 北村 裕一さん

阪神・淡路大震災や東日本大震災など、各地の被災地で災害ボランティア活動してきました。活動の中で、壊れたトイレが使われ続けたために排泄物が道路にあふれた光景を目にしました。その経験から被災者の安全や衛生、健康を守るために、災害時のトイレの使い方を皆さんに知っていただきたいと普段からさまざまな方にお話しています。



大丈夫! うちいつも風呂に水をためているから、それでトイレを流せるよ

…という方がいますが、
災害が発生したらこれ、絶対にやめてください!



だめだったのね知らなかった…

一軒家の場合
排水管が破損していると、逆流したり他の家の配管に流れ込んでしまうことも!



集合住宅の場合
上階の部屋から流した下水が下階の部屋のトイレであふれることに!



実際に熊本地震のときに起こったことです。被害にあったお宅の方は「うちは流してないのに…」と話していました。公園や商業施設などのトイレも同様です。

ここが大事! 災害直後にすべきこと

トイレが壊れていなくても、水道が使えても、トイレは安易に使わない! 自宅でも公共のトイレでも「1回くらい…」もダメですよ!! そして下水が逆流し汚水があふれてくる可能性があるため対策すると安心です。

トイレの逆流被害を防ぐために

レジ袋などに水を入れて水のうを作りトイレをふさぎます。水はトイレタンクにたまっているものを使うことができます。

復旧時 下水道が復旧したら水を流すことができます。そのときは少量ではなく、バケツいっぱいの水で流してください。水量が少ないと流れないことがあります。下水道の復旧状況は行政からの情報を確認しましょう。



安心できるトイレが身体を守る

トイレが不衛生になると何が起るのか?

- 菌やウイルスが広まりやすい環境になる
- 災害時は体力・免疫力が落ちていて体調を壊しやすくなる。
- トイレが臭い、汚いなどの理由からトイレを我慢
- トイレに行かなくて済むように水分の摂取を抑える
- 水分を極端にとらないと、脱水症状やエコノミー症候群、心筋梗塞などのリスクが高まる。排泄を我慢するとぼうこう炎になることも。
- 悪臭を放つトイレが住環境全体を悪化させることに
- こんなところで食べられない! 眠れない!

簡易トイレの準備を!

地震や水害だけでなく大型寒波でも水道管・下水管が破損し断水することもあります。避難所でも自宅でも災害時での応急的なトイレ対策として、簡易トイレが必要になります。

- 緊急用トイレ凝固剤 500g 50回分 (次回1月4回予定) くらしのパートナー 1,628円(税込)
- 緊急トイレポット 3セット (次回1月3回) コープファミリー 1,078円(税込)
- 緊急用 組み立て式トイレ (次回1月3回) コープファミリー 2,068円(税込)

1月3回・4回のくらしのパートナーやコープファミリー家庭用品ページに防災関連商品を多数掲載しているよ!

便器を簡易トイレに

便器が壊れていなければ、簡易トイレとして使用することができます。便器が使えない場合は、災害用の簡易トイレを使用したり、バケツやゴミ箱を代用して簡易トイレを作ることもできます。

用意するもの: 凝固剤、大きめのゴミ袋、新聞紙、消臭剤・消臭スプレーなど



1 便座を上げ、ゴミ袋をセットします。薄ければ2枚程度。新聞紙で便器の開口部をすっぽり覆い、凝固剤または新聞紙を丸めて入れます。

2 便座を下ろします。使用したトイレトーパーや生理用ナプキンなどは別の袋に入れます。1回使用したら、その上に新聞紙を重ね消臭スプレーをします。

3 あまり重くならないように3~5回使用したら交換します。取り出したゴミ袋は漏れないように口をしっかり縛って分別ゴミに出します。

凝固剤や新聞紙だけでなく、不要になった紙おむつやぼろ布、古着、毛布などを切って代用することができます。

ここ大事 まとめたゴミは行政が定めた災害時のルールに基づいて、決められた場所に廃棄しましょう。しっかり分別して出すことは衛生対策でもあり、早い復旧につながります。

おわりに

災害時のトイレ問題は、「どこかその辺で隠れてするわ」と考えている人が多いです。以前、被災して家のトイレを使えなかった方が家の裏山に穴を掘って用を済ませるといった状態を何日も続けた結果、雨が降り裏山から大量の汚物が川に流れ出し、近所一帯がずっと悪臭に悩まされたといった例も。災害時でもトイレは欠かせません。不慣れた避難生活の中にあっても健康を維持するためにはトイレを我慢するのは避けたいことです。普段から災害時のトイレの使い方を知っておくこと、トイレが使えなくなった場合に備えておくことが大切です。

